

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Tadao KAI, et al.

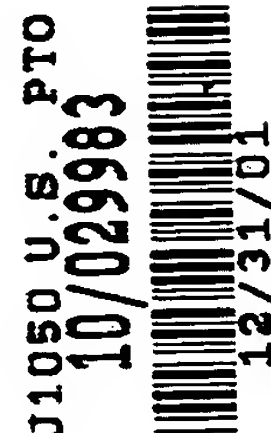
Application No.: To Be Assigned

Group Art Unit: To Be Assigned

Filed:

Examiner: To Be Assigned

For: IMAGE-CAPTURING DEVICE



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-001472

Filed: January 9, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

Date: December 31, 2001

STAAS & HALSEY LLP
By: David M. Pitcher
David M. Pitcher
Registration No. 25,908

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2001年 1月 9日

出願番号
Application Number:

特願2001-001472

出願人
Applicant(s):

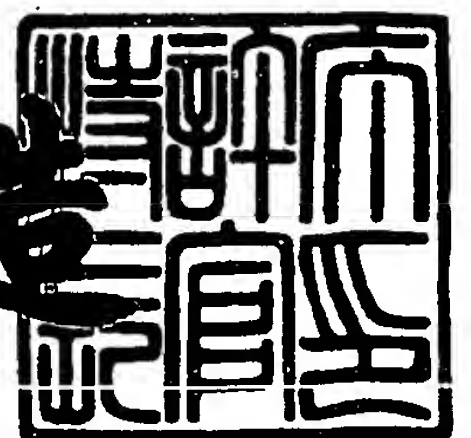
株式会社ニコン



2001年11月26日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

出証番号 出証特2001-3102903

【書類名】 特許願

【整理番号】 00-01043

【提出日】 平成13年 1月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G03B 5/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内 3 丁目 2 番 3 号 株式会社ニコン
内

 【氏名】 甲斐 糾夫

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内 3 丁目 2 番 3 号 株式会社ニコン
内

 【氏名】 臼井 一利

【特許出願人】

 【識別番号】 000004112

 【氏名又は名称】 株式会社ニコン

 【代表者】 吉田 庄一郎

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 005223

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 撮影装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 光を電気信号に変換する撮像素子と、
前記撮像素子に被写体光を集光する撮影レンズ部材と、
前記撮像素子を搭載する基板と、
一端が前記撮影レンズ部材に固定され、他の一端が前記基板に固定された可撓部材とを備えることを特徴とする撮影装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の撮影装置において、
前記基板と前記撮影レンズ部材との前記撮影レンズ部材の光軸に略垂直な方向の相対位置をシフトさせるシフト駆動部材をさらに備えることを特徴とする撮影装置。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の撮影装置において、
前記シフト駆動部材は、前記撮影レンズ部材を光軸とは略垂直な方向に電磁力によって移動させるとともに、
前記基板は電気回路基板であり、
前記可撓部材は導電性を有し、前記シフト駆動部材と前記電気回路基板とを電気的に接続することを特徴とする撮影装置。

【請求項 4】 請求項 3 に記載の撮影装置において、
前記シフト駆動部材は、前記撮影レンズ部材と一体的に移動する電磁石と、前記基板に固定された永久磁石とで構成されることを特徴とする撮影装置。

【請求項 5】 請求項 3 に記載の撮影装置において、
前記シフト駆動部材は、前記撮影レンズ部材と一体的に移動する電磁石と、前記基板に固定された電磁石とで構成されることを特徴とする撮影装置。

【請求項 6】 請求項 3 に記載の撮影装置において、
前記シフト駆動部材は、前記撮影レンズ部材と一体的に移動する永久磁石と、前記基板に固定された電磁石とで構成されることを特徴とする撮影装置。

【請求項 7】 請求項 3 に記載の撮影装置において、
前記基板に固定され、前記撮影装置の振れに応じた電気信号を出力する振れ検出

センサーと、

前記振れ検出センサーの出力に応じて前記シフト駆動部材を駆動制御する防振制御部とを備えることを特徴とする撮影装置。

【請求項 8】 請求項 7 に記載の撮影装置において、
前記基板に固定され、前記撮影レンズ部材のシフト移動位置に応じた電気信号を出力する位置検出センサーを備え、
前記防振制御部は、前記振れ検出センサー及び前記位置検出センサーの出力に応じて前記シフト駆動部材を駆動制御する事を特徴とする撮影装置。

【請求項 9】 請求項 1 に記載の撮影装置において、
前記可撓部材は細長い棒状の部材であり、長手方向と垂直な方向への可撓性を備えることを特徴とする撮影装置。

【請求項 1 0】 請求項 9 に記載の撮影装置において、
前記可撓部材は金属ワイヤであることを特徴とする撮影装置。

【請求項 1 1】 請求項 1 に記載の撮影装置において、
前記撮影レンズ部材は、撮影レンズ部と該撮影レンズを保持する保持部とからなることを特徴とする撮影装置。

【請求項 1 2】 請求項 1 1 に記載の撮影装置において、
前記撮影レンズと前記保持部は一体的に樹脂成型されることを特徴とする撮影装置。

【請求項 1 3】 請求項 1 に記載の撮影装置において、
前記撮影レンズ部材と前記可撓部材が一体的に樹脂成形されることを特徴とする撮影装置。

【請求項 1 4】 請求項 2 に記載の撮影装置において、
前記シフト駆動部材は、前記基板を撮影レンズ部材の光軸とは略垂直な方向に電磁力によって移動させることを特徴とする撮影装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】 本発明は C C D 等の固体撮像素子を用いた電子カメラ等の撮像装置に関し、特に手ぶれ等の影響を除去する防振機能付き撮像装置に関

する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】 特開平 7 - 2 4 8 5 2 2 号公報には、撮影レンズの一部のレンズを、手ぶれを除去するために撮影レンズの光軸と垂直方向にシフト駆動させることによって、手ぶれによる像の劣化を防止する、いわゆる防振機能付きの電子カメラが開示されている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】 近年ノートパソコンや携帯電話に組み込まれる小型オンボードカメラをはじめとして電子カメラ（電子スチルカメラ、ビデオカメラ）の小型化または低価格化の要求が強い。それに伴い撮像素子の小型化あるいは撮影画面の小型化が進んでいる。このため同一の撮影画角をカバーするための撮影レンズの焦点距離はより小さいものになってきており、通常の撮影においては、撮影レンズを光軸方向に移動させピント合わせをする必要が無く、ある所定の位置に固定した、いわゆる「パンフォーカス」撮影で事足りるようになってきている。

【 0 0 0 4 】

一方手ぶれ等による像の劣化の程度は、撮影画角と手ぶれ角度との関係に比例するため、同一の画角で撮影する場合には、撮影画面の大きさによって変化しない。つまり、撮像素子あるいは撮影画面の小型化が進むと、通常撮影ではピント合わせの機能は不要となるまたは必要性が低くなるが、防振機能は小型化以前と同様に依然として必要性が高く、効果的な機能である。なお撮像素子の小型化が進むと撮影レンズのピント合わせの必要性は薄れるが、撮像素子と撮影レンズの光軸方向の位置関係が少しでもずれるとすぐにピント外れになるため、むしろ光軸方向の位置精度に関しては厳しくなる。

【 0 0 0 5 】

また撮影装置の小型軽量化要求に伴い、撮像素子の小型化とともに、防振機構自体の小型軽量化要求も強くなってきている。

このような最近の電子カメラに対する要求に対し、従来の技術で例示した防振機能付きの電子カメラの構成では、防振駆動機構（例えばレンズをシフトさせる

）や振れ検出センサー等の構成要素が多くなり、小型軽量化が困難であると同時に組立性の困難も発生する。また構成が複雑なため、撮影レンズと撮像素子との光軸方向の相対的な位置精度を保つことが困難である。

【 0 0 0 6 】

そこで本発明は、撮影レンズと撮像素子の光軸方向の位置精度が高くかつ小型軽量の防振駆動機構を備える撮像装置を提供することを目的とする。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、請求項 1 に記載の撮像装置では、光を電気信号に変換する撮像素子と、前記撮像素子に被写体光を集光する撮影レンズ部材と、前記撮像素子を搭載する基板と、一端が撮影撮影レンズ部材に固定され、他の一端が前記基板に固定された可撓部材とを備えることを特徴とする。

【 0 0 0 8 】

請求項 2 に記載の発明では、請求項 1 に記載の撮像装置において、前記基板と前記撮影レンズ部材との前記撮影レンズ部材の光軸に略垂直な方向の相対位置をシフトさせるシフト駆動部材をさらに備えることを特徴とする。

請求項 3 に記載の発明では、請求項 2 に記載の撮像装置において、前記シフト駆動部材は、前記撮影レンズ部材を光軸とは略垂直な方向に電磁力によって移動させるとともに、前記基板は電気回路基板であり、前記可撓部材は導電性を有し、前記シフト駆動部材と前記電気回路基板とを電氣的に接続することを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

請求項 4 に記載の発明では、請求項 3 に記載の撮像装置において、前記シフト駆動部材は、前記撮影レンズ部材と一体的に移動する電磁石と、前記基板に固定された永久磁石とで構成されることを特徴とする。

請求項 5 に記載の発明では、請求項 3 に記載の撮像装置において、前記シフト駆動部材は、前記撮影レンズ部材と一体的に移動する電磁石と、前記基板に固定された電磁石とで構成されることを特徴とする。

【 0 0 1 0 】

請求項 6 に記載の発明では、請求項 3 に記載の撮像装置において、前記シフト駆動部材は、前記撮影レンズ部材と一体的に移動する永久磁石と、前記基板に固定された電磁石とで構成されることを特徴とする。

請求項 7 に記載の発明では、請求項 3 に記載の撮像装置において、前記基板に固定され、前記撮影装置の振れに応じた電気信号を出力する振れ検出センサーと、前記振れ検出センサーの出力に応じて前記シフト駆動部材を駆動制御する防振制御部とを備えることを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

請求項 8 に記載の発明では、請求項 7 に記載の撮像装置において、前記基板に固定され、前記撮影レンズ部材のシフト移動位置に応じた電気信号を出力する位置検出センサーを備え、前記防振制御部は、前記振れ検出センサー及び前記位置検出センサーの出力に応じて前記シフト駆動部材を駆動制御する事を特徴とする。

【 0 0 1 2 】

請求項 9 に記載の発明では、請求項 1 に記載の撮像装置において、前記可撓部材は細長い棒状の部材であり、長手方向と垂直な方向への可撓性を備えることを特徴とする。

請求項 1 0 に記載の発明では、請求項 9 に記載の撮像装置において、前記可撓部材は金属ワイヤであることを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

請求項 1 1 に記載の発明では、請求項 1 に記載の撮像装置において、前記撮影レンズ部材は、撮影レンズ部と該撮影レンズを保持する保持部とからなることを特徴とする。

請求項 1 2 に記載の発明では、請求項 1 1 に記載の撮像装置において、前記撮影レンズと前記保持部は一体的に樹脂成型されることを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

請求項 1 3 に記載の発明では、請求項 1 に記載の撮像装置において、前記撮影レンズ部材と前記可撓部材が一体的に樹脂成形されることを特徴とする。

請求項 1 4 に記載の発明では、請求項 2 に記載の撮影装置において、

前記シフト駆動部材は、前記基板を撮影レンズ部材の光軸とは略垂直な方向に電磁力によって移動させることを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

【発明の実施の形態】図 1 は、本発明による撮像装置（電子カメラ）の外観図であって、ボディ 1 0 0 の矢印で示す部分に撮影レンズ、撮像素子からなる撮像系と像ブレ補正のための防振機構が組み込まれている。

図 2 は、上記撮像系と防振機構の構成図であって、撮影レンズ 2 0 0 は撮像素子 3 0 0 上に被写体像を形成している。撮影レンズ 2 0 0 は、保持部 2 0 2 によって保持されており、撮影レンズ 2 0 0 と保持部 2 0 2 が撮影レンズ部材 2 0 3 を構成する。撮像素子 3 0 0 は、基板 3 0 1 に搭載されている。基板 3 0 1 は、撮像素子 3 0 0 の配線パターンを有する電気回路基板を兼ねることができる。可撓部材 4 0 0、4 0 1、4 0 2、4 0 3 は、細長い棒状の形状をしており、一端を撮影レンズ部材に固定され、他端を基板 3 0 1 に固定され、撮影レンズ 2 0 0 の光軸 2 0 1 とほぼ平行に配置されている。可撓部材 4 0 0、4 0 1、4 0 2、4 0 3 は、金属ワイヤ等により構成され、ワイヤの長さ方向と垂直な方向すなわち光軸と垂直方向に撓むことができる。

【 0 0 1 6 】

上記のように撮影レンズ部材 2 0 3 と基板 3 0 1 は可撓部材 4 0 0、4 0 1、4 0 2、4 0 3 により弾性的に支持されており、光軸 2 0 1 と垂直な方向には相対的にシフトすることが可能である。また撮影レンズ部材 2 0 3 と撮像素子 3 0 0 を搭載した基板 3 0 1 との間に介在する部材は可撓部材 4 0 0、4 0 1、4 0 2、4 0 3 だけであるので、撮影レンズ 2 0 0 と撮像素子 3 0 0 との光軸方向の相対的位置関係を高精度に調整することが可能であるとともに、経時誤差も少なくすることができる。また可撓部材 4 0 0、4 0 1、4 0 2、4 0 3 が撓み、撮影レンズ部材 2 0 0 と撮像素子 3 0 0 とが光軸と垂直方向に相対的にシフトした場合でも、シフト量が可撓部材 4 0 0、4 0 1、4 0 2、4 0 3 の長さに比較して小さければ、撮影レンズ 2 0 0 と撮像素子 3 0 0 との光軸方向の距離の変化量はわずかであり、ピントへの影響は無視できる。なお撮像装置のボディ 1 0 0 には、撮影レンズ部材 2 0 3 と基板 3 0 1 のどちらか一方が固定される。

【 0 0 1 7 】

振れ検出センサー 5 0 0、5 0 1 はそれぞれ Y 軸周り、X 軸周りの振れを検出し、検出した振れに応じた電気信号を出力するセンサーであり、周知の角速度センサー等を利用することができる。シフト駆動部材 5 0 2 は、撮影レンズ部材 2 0 3 と基板 3 0 1 のうちボディ 1 0 0 に固定されていないほうを光軸と垂直にシフト駆動するための部材であり、電磁力等を利用した駆動を行う。例えば永久磁石と電磁石（導電コイル）を用いた周知の電磁アクチュエータを利用することができる。位置検出センサー 5 0 3 は、シフト駆動部材 5 0 2 によりシフト駆動される部材（撮影レンズ部材 2 0 3 または基板 3 0 1）の光軸と垂直方向のシフト位置を検出し、検出したシフト位置に応じた電気信号を出力するセンサーであり、周知の P S D（Position Sensitive Device）とスリットと L E D からなる位置検出センサーや、フォトリフレクターとグラデーションチャートからなる位置検出センサー等を利用することができる。防振制御部 5 0 4 は、振れ検出センサー 5 0 0、5 0 1 の出力と位置検出センサー 5 0 3 の出力に応じてシフト駆動部材 5 0 2 の駆動制御を行い、シフト駆動される部材（撮影レンズ部材 2 0 3 または基板 3 0 1）を光軸方向へシフトさせることにより、撮像素子 3 0 0 上での像ブレを防止する。

【 0 0 1 8 】

なお上記振れ検出センサー 5 0 0、5 0 1、シフト駆動部材 5 0 2、位置検出センサー 5 0 3 を、撮影レンズ部材 2 0 3 または基板 3 0 1 に固定することにより、防振機構をさらに小型化することが可能である。またこのような電気部品を撮影レンズ部材 2 0 3 または基板 3 0 1 に搭載する場合には、可撓部材として用いている金属ワイヤを撮影レンズ部材 2 0 3 または基板 3 0 1 間の配線として用いることによりさらなる小型化が可能になる。

【 0 0 1 9 】

（第一実施形態）以下図面を参照して、本発明の第一実施形態について説明する。図 3 は、第一実施形態の撮像装置の平面図である。図 4 は、図 3 に示す A - A における断面図である。なお図 4 は分かりやすくするために本来見えるべき背景の一部を省略している。また図 3 はレンズ一体部材 1 b に固定されているもの

を実線で、基板 2 に固定されている物を点線で示している。

【 0 0 2 0 】

図 3 および図 4 において、1 a は撮影レンズ、1 b は撮影レンズ 1 a と一体のレンズ一体部材、2 は基板（プリント基板、積層プリント基板等）であり電気配線が施されている。3 a は CCD パッケージ、3 b は CCD チップである。なおこの実施形態においては、基板 2 が撮像装置本体に固定され、撮影レンズ 1 a およびレンズ一体部材 1 b がブレ補正のため光軸と垂直方向にシフトされる。またレンズ一体部材 1 b は撮影レンズ 1 a と透明樹脂等により一体成形されているが、撮影レンズ 1 a とは別部材のレンズ保持部として形成してもよい。

【 0 0 2 1 】

4 x は X 方向駆動用マグネット（永久磁石）であり、図 1 に示すように面内 2 極分極着磁されており、基板 2 に固定されている。4 y は Y 方向駆動用マグネット（永久磁石）であり、X 方向駆動用マグネット 4 x と同様に面内 2 極分極着磁されており、基板 2 に固定されている。

【 0 0 2 2 】

5 x は X 方向駆動用コイルであり、接着等によりレンズ一体部材 1 b に固定されている。5 y は Y 方向駆動用コイルであり、X 方向駆動用コイル 5 x と同様に接着等によりレンズ一体部材 1 b に固定されている。

6 x a は X 方向レンズ位置検出用フォトレフレクタであり、プリント配線への半田付け等により基板 2 に固定されている。6 x b は 6 x a と対になるグラデーションチャートであり、レンズ一体部材 1 b に固定されている。グラデーションチャート 6 x b は X 方向に濃淡に着色されており、グラデーションチャート 6 x b の X 方向位置によって X 方向レンズ位置検出用フォトレフレクタ 6 x a の出力する電気信号が変化する。これによりレンズ一体部材 1 b すなわち撮影レンズ 1 a の X 方向位置が分かる。

【 0 0 2 3 】

6 y a は Y 方向レンズ位置検出用フォトレフレクタであり、プリント配線への半田付け等により基板 2 に固定されている。6 y b は 6 y a と対になるグラデーションチャートであり、レンズ一体部材 1 b に固定されている。グラデーション

チャート 6 y b は Y 方向に濃淡に着色されており、グラデーションチャート 6 y b の Y 方向位置によって Y 方向レンズ位置検出用フォトレフレクタ 6 y a の出力する電気信号が変化する。これによりレンズ一体部材 1 b すなわち撮影レンズ 1 a の Y 方向位置が分かる。

【 0 0 2 4 】

7 x は Y 軸周リ角速度センサーであり、プリント配線への半田付け等により基板 2 に固定されており、撮像面 X 方向の像ブレが発生させる Y 軸周リの回転による振れ（回転角速度）を検出し電気信号を出力する。7 y は X 軸周リ角速度センサーであり、プリント配線への半田付け等により基板 2 に固定されており、撮像面 Y 方向の像ブレが発生させる X 軸周リの回転による振れ（回転角速度）を検出し電気信号を出力する。

【 0 0 2 5 】

8 a は撮影レンズ 1 a およびレンズ一体部材 1 b と基板 2 を連結支持するワイヤであり、りん青銅等の導電性の高い弾性材料で出来ている。ワイヤ 8 a は一端をレンズ一体部材 1 b に固定（接着、半田付け、インサート成形等）され、もう一端を基板 2 に固定（プリント回路基板に形成されたスルーホールへの半田付け等）される。X 方向駆動用コイル 5 x 及び Y 方向駆動用コイル 5 y それぞれのコイル配線の一端とワイヤ 8 a とは導線によって接続されており、ワイヤ 8 a は電気的グランドとして機能している。

【 0 0 2 6 】

8 b はワイヤ 8 a と同様に、撮影レンズ 1 a およびレンズ一体部材 1 b と基板 2 を連結支持するワイヤであり、りん青銅等の導電性の高い弾性材料で出来ている。ワイヤ 8 b は一端をレンズ一体部材 1 b に固定され、もう一端を基板 2 に固定される。Y 方向駆動用コイル 5 y のコイル配線の一端とワイヤ 8 b とは導線によって接続されている。

【 0 0 2 7 】

8 c はワイヤ 8 a と同様に、撮影レンズ 1 a およびレンズ一体部材 1 b と基板 2 を連結支持するワイヤであり、りん青銅等の導電性の高い弾性材料で出来ている。ワイヤ 8 c は一端をレンズ一体部材 1 b に固定され、もう一端を基板 2 に固

定される。X方向駆動用コイル5xのコイル配線の一端とワイヤ8cとは導線によって接続されている。

【0028】

8dはワイヤ8aと同様に、撮影レンズ1aおよびレンズ一体部材1bと基板2を連結支持するワイヤであり、りん青銅等の導電性の高い弾性材料で出来ている。ワイヤ8dは一端をレンズ一体部材1bに固定され、もう一端を基板2に固定される。ワイヤ8dはどことも導通がとられていない。

【0029】

ワイヤ8a、8b、8cに流す電流をコントロールすることにより、X方向駆動用コイル5x、Y方向駆動用コイル5yが作る磁界と永久磁石4x、4yが形成する磁界が相互作用（反発、吸引）し、撮影レンズ1aおよびレンズ一体部材1bがx方向とY方向にシフト駆動される。なおプリント回路基板2には駆動用コイル5x、5yを駆動するための不図示の駆動ドライバ回路が搭載されており、該駆動ドライバ回路の出力がワイヤ8a、8b、8cに接続されている。

【0030】

以上のような構成により、本発明の第一実施形態の撮像装置は以下のような特徴を備える。

撮影レンズ1aおよびレンズ一体部材1bと基板2を4本ワイヤ8a、8b、8c、8dで連結支持するシンプルな防振機構の構成としたため、従来のような中間介在部材がなくなり、防振機構の小型化と軽量化が図れるとともに組立性が向上する。またこれによりCCDチップ3bと撮影レンズ1aの光軸方向の位置が4本ワイヤ8a、8b、8c、8dの足の長さのみで決まり、組立による誤差の累積が発生しないので、CCDチップ3bと撮影レンズ1aの光軸方向の相対的な位置精度が向上する。

【0031】

4本のワイヤ8a、8b、8c、8dをシフト駆動用コイル5x、5yと基板2との導電部材として兼用したため、シフト駆動用コイル5x、5yへの配線専用の部材が不要となり、防振機構の小型化と軽量化が図れるとともに組立性が向上する。

【 0 0 3 2 】

シフト駆動用コイル 5 x、5 y をレンズ一体部材 1 b に配し、シフト駆動力を発生できるようにしたため、レンズ一体部材 1 b とプリント回路基板 2 の間のスペースを無駄なく利用でき、防振機構の小型化が図れる。

位置検出部のフォトレфлекタ 6 x a、6 y a を CCD パッケージ 3 a 等他の部品と同じプリント回路基板 2 の同一面に固定したため、レンズ一体部材 1 b とプリント回路基板 2 の間のスペースを無駄なく利用でき、防振機構の小型化が図れるとともに、フォトレфлекタ 6 x a、6 y a への電気配線が容易となり、また部品の実装上も有利となり、組み立てが容易となる。

【 0 0 3 3 】

駆動用マグネット 4 x、4 y を CCD パッケージ 3 a 等他の部品と同じプリント回路基板 2 の同一面に固定したため、レンズ一体部材 1 b とプリント回路基板 2 の間のスペースを無駄なく利用でき、防振機構の小型化が図れるとともに、部品の実装上も有利となり、組み立てが容易となる。

【 0 0 3 4 】

角速度センサー 7 x、7 y を CCD パッケージ 3 a 等他の部品と同じプリント回路基板 2 の同一面に固定したため、レンズ一体部材 1 b とプリント回路基板 2 の間のスペースを無駄なく利用でき、防振機構の小型化が図れるとともに、角速度センサー 7 x、7 y への電気配線が容易となり、また部品の実装上も有利となり、組み立てが容易となる。また Y 軸周り角速度センサー 7 x と X 軸周り角速度センサー 7 y は CCD チップ 3 b と同一の基板 2 に固定されており、途中に多数の部材が介在しないので、不要な振動（ノイズ）などがのりにくく、振れの検出精度上も有利である。

【 0 0 3 5 】

（第二実施形態）以下図面を参照して、本発明の第二実施形態について説明する。図 5 は、第二実施形態の撮像装置の平面図である。図 6 は、図 5 に示す A-A における断面図である。なお図 6 は分かりやすくするために本来見えるべき背景の一部を省略している。また図 5 はレンズ一体部材 1 b に固定されているものを実線で、基板 2 に固定されている物を点線で示している。また図 5、図 6 にお

いて、図 3、図 4 と同一の機能を有するものには図 3、図 4 と同一の番号を付けてあり、その機能についての説明は省略する。

【 0 0 3 6 】

第二実施形態においては、基板 2 が撮像装置本体に固定され、撮影レンズ 1 a およびレンズ一体部材 1 b がブレ補正のため光軸と垂直方向にシフトされる。図 5、図 6 に示す第二実施形態が第一実施形態と異なる点は、駆動用マグネット 4 x、4 y、駆動用コイル 5 x、5 y の配置であり、第一実施形態とは反対に、駆動用マグネット 4 x、4 y がレンズ一体部材 1 b に固定され、駆動用コイル 5 x、5 y が基板 2 に固定される。

【 0 0 3 7 】

以上のような構成により、本発明の第二実施形態の撮像装置は、第一実施形態が備えた特徴に加え以下のような特徴を備える。

駆動用コイル 5 x、5 y への配線が基板 2 から直接できるので電気配線がより容易になる。

【 0 0 3 8 】

ワイヤ 8 a、8 b、8 c、8 d は電氣的導通をとる必要がないので、プラスチック樹脂などの電氣的導通の無い物、良くない物で作ることもできる。例えばプラスチック樹脂で作る場合は金属製のワイヤよりも撓みやすい様につくることができ、シフトさせたときのワイヤ 8 a、8 b、8 c、8 d の反力を減らすことができる。またレンズ一体部材 1 b と一体的に樹脂で作ってしまっても良い。すなわち撮影レンズ 1 a、レンズ一体部材 1 b、ワイヤ 8 a、8 b、8 c、8 d を一体にすることにより、部品点数の削減が図れるとともに、組み立ても容易になる。なおワイヤ 8 a、8 b、8 c、8 d を樹脂化した場合には基板への固定はスナップショット、熱かしめ、ネジ、接着等を行うことができる。

【 0 0 3 9 】

駆動マグネット 4 x、4 y を可動部（レンズ一体部材 1 b）側に配置し、駆動用コイル 5 x、5 y を CCD パッケージ 3 a 等他の部品と同じプリント回路基板 2 の同一面に配置固定したため、レンズ一体部材 1 b とプリント回路基板 2 の間のスペースを無駄なく利用でき、防振機構の小型化が図れるとともに、駆動用コ

イル 5 x、5 y への電気配線が容易となり、また部品の実装上も有利となり、組み立てが容易となる。

【 0 0 4 0 】

(第三実施形態) 以下図面を参照して、本発明の第三実施形態について説明する。図 7 は、第三実施形態の撮像装置の平面図である。図 8 は、図 7 に示す A - A における断面図である。なお図 8 は分かりやすくするために本来見えるべき背景の一部を省略している。また図 7 はレンズ一体部材 1 b に固定されているものを実線で、基板 2 に固定されている物を点線で示している。また図 7、図 8 において、図 3、図 4 と同一の機能を有するものには図 3、図 4 と同一の番号を付けてあり、その機能についての説明は省略する。

【 0 0 4 1 】

第三実施形態においては、基板 2 が撮像装置本体に固定され、撮影レンズ 1 a およびレンズ一体部材 1 b がブレ補正のため光軸と垂直方向にシフトされる。図 7、図 8 に示す第三実施形態が第一実施形態と異なる点は、駆動用マグネット 4 x、4 y が電磁石 (電磁コイル) 9 x、9 y に置換した点である。

【 0 0 4 2 】

以上のような構成により、本発明の第三実施形態の撮像装置は、第一実施形態が備えた特徴に加え以下のような特徴を備える。

電磁コイル 9 x、9 y のコイル部をアルミ線等の軽量な部材で構成することにより、マグネットよりも軽量化することができるため、防振機構の小型化が図れる。

【 0 0 4 3 】

電磁コイル 9 x、9 y を CCD パッケージ 3 a 等他の部品と同じプリント回路基板 2 の同一面に固定したため、レンズ一体部材 1 b とプリント回路基板 2 の間のスペースを無駄なく利用でき、防振機構の小型化が図れるとともに、電磁コイル 9 x、9 y への電気配線が容易となり、また部品の実装上も有利となり、組み立てが容易となる。

【 0 0 4 4 】

(第四実施形態) 以下図面を参照して、本発明の第四実施形態について説明す

る。図 9 は、第四実施形態の撮像装置の平面図である。図 10 は、図 9 に示す A-A における断面図である。なお図 10 は分かりやすくするために本来見えるべき背景の一部を省略している。また図 9 はレンズ一体部材 1 b に固定されているものを実線で、基板 2 に固定されている物を点線で示している。また図 9、図 10 において、図 3、図 4 と同一の機能を有するものには図 3、図 4 と同一の番号を付けてあり、その機能についての説明は省略する。

【 0 0 4 5 】

第四実施形態においては、撮影レンズ 1 a およびレンズ一体部材 1 b が撮像装置本体に固定され、基板 2 がブレ補正のため光軸と垂直方向にシフトされる。図 9、図 10 に示す第四実施形態が第二実施形態と異なる点は、位置検出用フォトリフレクタ 6 x a、6 y a、グラデーションチャート 6 x b、6 y b、角速度センサー 7 x、7 y の配置であり、第二実施形態とは反対に、レンズ一体部材 1 b 側に位置検出用フォトリフレクタ 6 x a、6 y a、角速度センサー 7 x、7 y が固定され、基板 2 にグラデーションチャート 6 x b、6 y b が固定される。プリント回路基板 2 には撮像装置本体から、フレキシブルプリント回路配線 10 により CCD チップ 3 b 用の電源および信号が接続される。

【 0 0 4 6 】

以上のような構成により、本発明の第四実施形態の撮像装置は、第二実施形態が備えた特徴に加え以下のような特徴を備える。

撮影レンズ 1 a を固定し、基板 2 を像ブレ補正のためにシフト駆動する構成としたため、撮影レンズ 1 a を複数枚のレンズで構成し、撮影レンズ 1 a の重量が増加した場合でも、比較的軽量の基板 2 をシフト駆動することが可能になる。また複数枚のレンズで撮影レンズを構成し、CCD チップに一番近いレンズをブレ補正のためシフト駆動するような構成においてはレンズの相対的シフトによる結像性能劣化が問題となるが、第四実施形態のように撮像素子をシフトする方式では結像性能劣化の問題は発生しない。

【 0 0 4 7 】

Y 軸周り角速度センサー 7 x と X 軸周り角速度センサー 7 y は撮影レンズ 1 a と同一のレンズ一体部材 1 b に固定されており、途中に多数の部材が介在しない

ので、不要な振動（ノイズ）などがのりにくく、振れの検出精度上も有利である。

【 0 0 4 8 】

本発明は以上説明した実施形態に限定されることなく、種々の変形や変更が可能である。

第一～第四実施形態では、撮影レンズを一枚のレンズで構成しているが、複数枚のレンズで構成しても構わない。この場合複数枚のレンズから構成されたレンズ全体をブレ補正のためにシフト駆動してもいいし、撮像素子にもっとも近いレンズのみをブレ補正のためにシフト駆動してもいい。

【 0 0 4 9 】

また第一～第四実施形態では、撮影レンズと撮像素子の間に他の光学部材はないが、被写体像の高周波成分をカットするためのローパスフィルタ部材や遮光部材等の光学部材を撮像素子から撮影レンズの間に配置することも可能である。

また第一～第四実施形態では、基板 2 をプリント回路基板として説明しているが、プリント回路基板以外の専用の基板として構成し、撮像素子のパッケージに対して該基板をより高精度に位置決めするようにしてもよい。このような場合、基板と撮影レンズ部材を樹脂材料とし、金属ワイヤをインサート成型により取り付けるようにすれば、撮像素子と撮影レンズ部材の光軸方向の位置精度をより向上させることができる。また基板と撮影レンズ部材とワイヤ部を樹脂の一体成型により構成することも可能である。

【 0 0 5 0 】

本発明は電子スチルカメラ、ビデオカメラ、ノートパソコン等に付属する画像取り込み用の小型カメラ、携帯電話に内蔵された撮像用カメラ等種々の撮像装置に適用することができる。

【 0 0 5 1 】

【発明の効果】以上説明したように、本発明による撮像装置においては、撮像素子を搭載する基板と撮影レンズ部材とをワイヤ等の可撓部材により直接連結し、上記基板または撮影レンズ部材の一方を像ブレ補正のために光軸と垂直方向にシフトする構成としたために、撮像装置を小型軽量化することが可能であるととも

に、撮像素子と撮影レンズ部材との間に介在する部材が少ないので、撮像素子と撮影レンズ部材の光軸方向の位置精度を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明による撮像装置の外観図である。

【図 2】 本発明による撮像装置の撮像系と防振機構の概念的な構成図である。

【図 3】 本発明の第一実施形態の平面図である。

【図 4】 本発明の第一実施形態の断面図である。

【図 5】 本発明の第二実施形態の平面図である。

【図 6】 本発明の第二実施形態の断面図である。

【図 7】 本発明の第三実施形態の平面図である。

【図 8】 本発明の第三実施形態の断面図である。

【図 9】 本発明の第四実施形態の平面図である。

【図 1 0】 本発明の第四実施形態の断面図である。

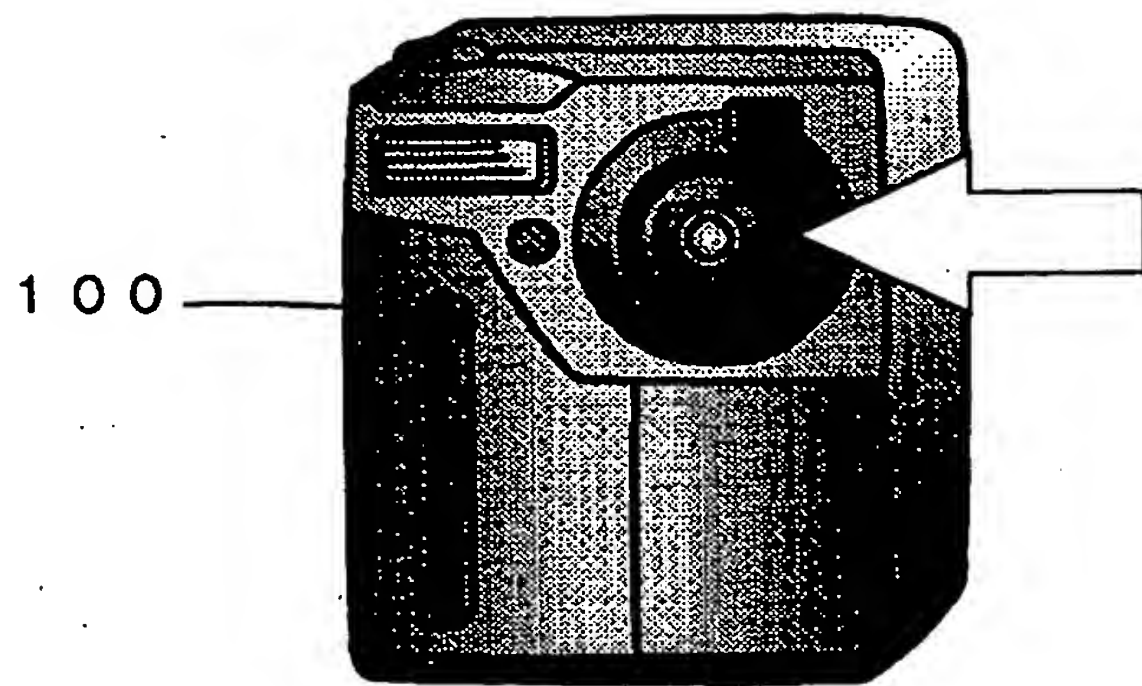
【符号の説明】

- 1 a 撮影レンズ
- 1 b レンズ一体部材
- 2 基板
- 3 a CCDパッケージ
- 3 b CCDチップ
- 4 x、4 y 駆動用マグネット
- 5 x、5 y 駆動用コイル
- 6 x a、6 y a 位置検出用フォトリフレクタ
- 6 x b、6 y b グラデーションチャート
- 7 x、7 y 角速度センサー
- 8 a、8 b、8 c、8 d ワイヤ
- 9 x、9 y 電磁石
- 1 0 フレキシブルプリント回路配線
- 1 0 0 ボディ
- 2 0 0 撮影レンズ

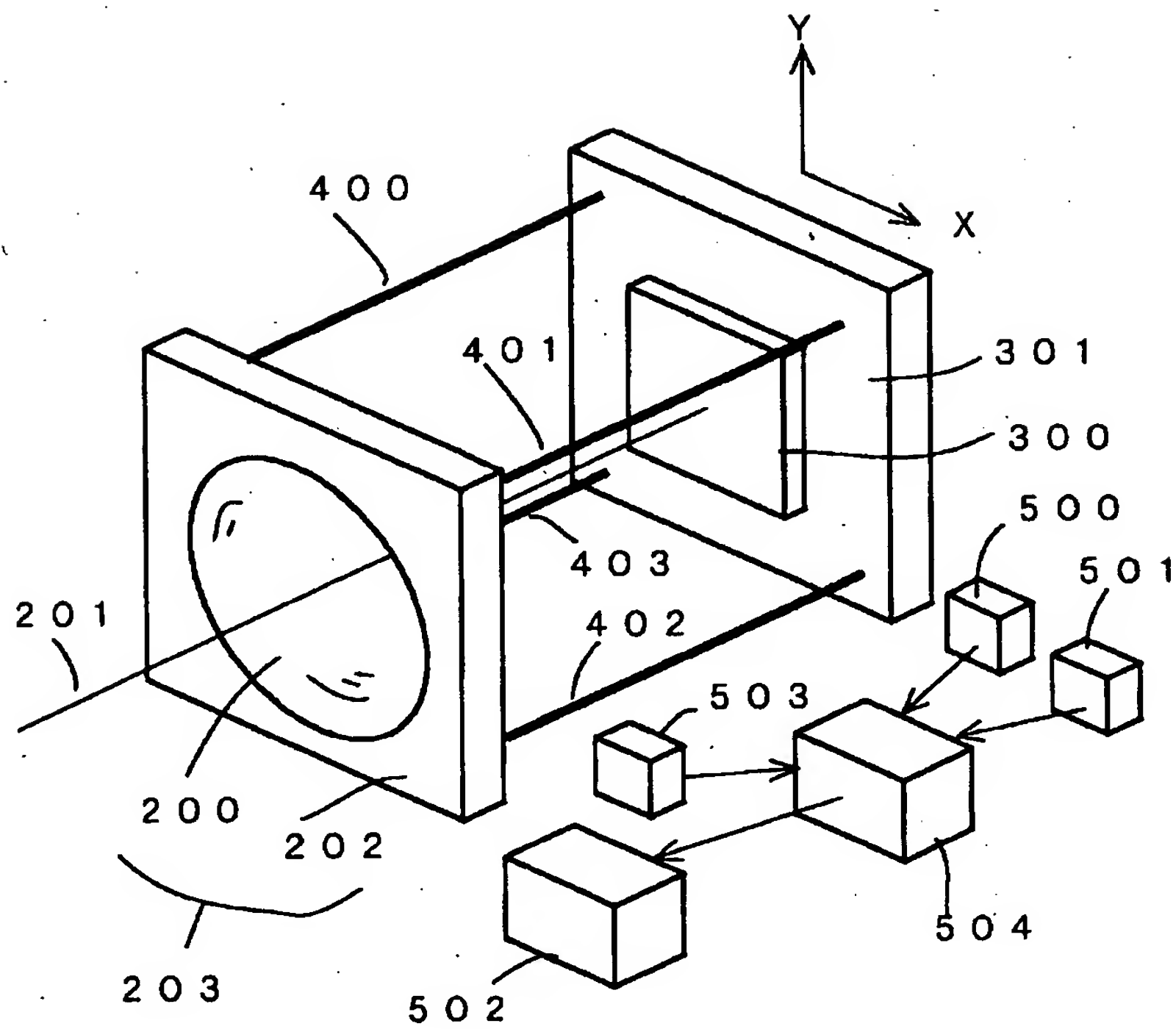
- 2 0 1 光軸
- 2 0 2 保持部
- 2 0 3 撮影レンズ部材
- 3 0 0 撮像素子
- 3 0 1 基板
- 4 0 0、4 0 1、4 0 2、4 0 3 可撓部材
- 5 0 0、5 0 1 振れ検出センサー
- 5 0 2 シフト駆動部材
- 5 0 3 位置検出センサー
- 5 0 4 防振制御部

【書類名】 図面

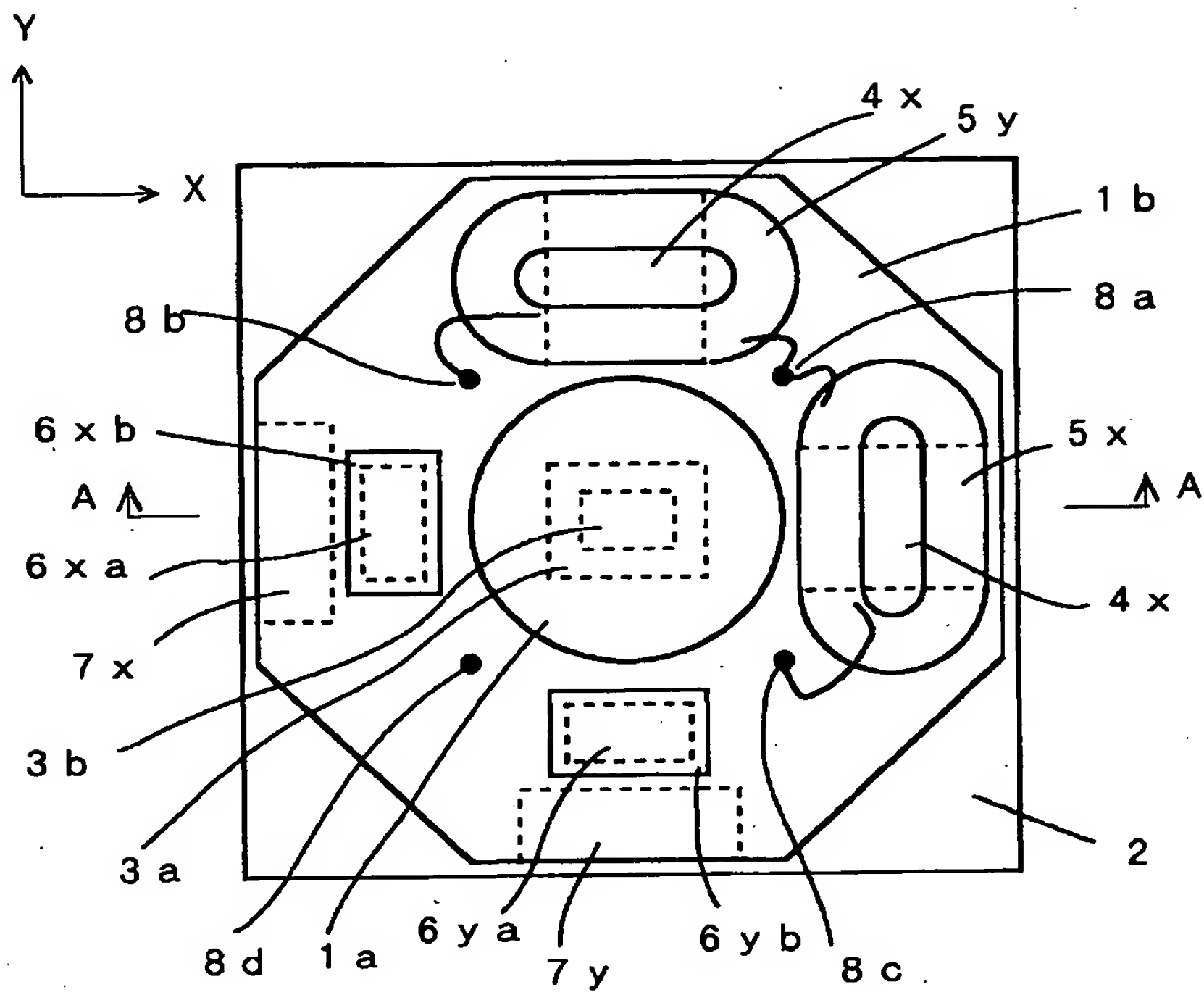
【図 1】



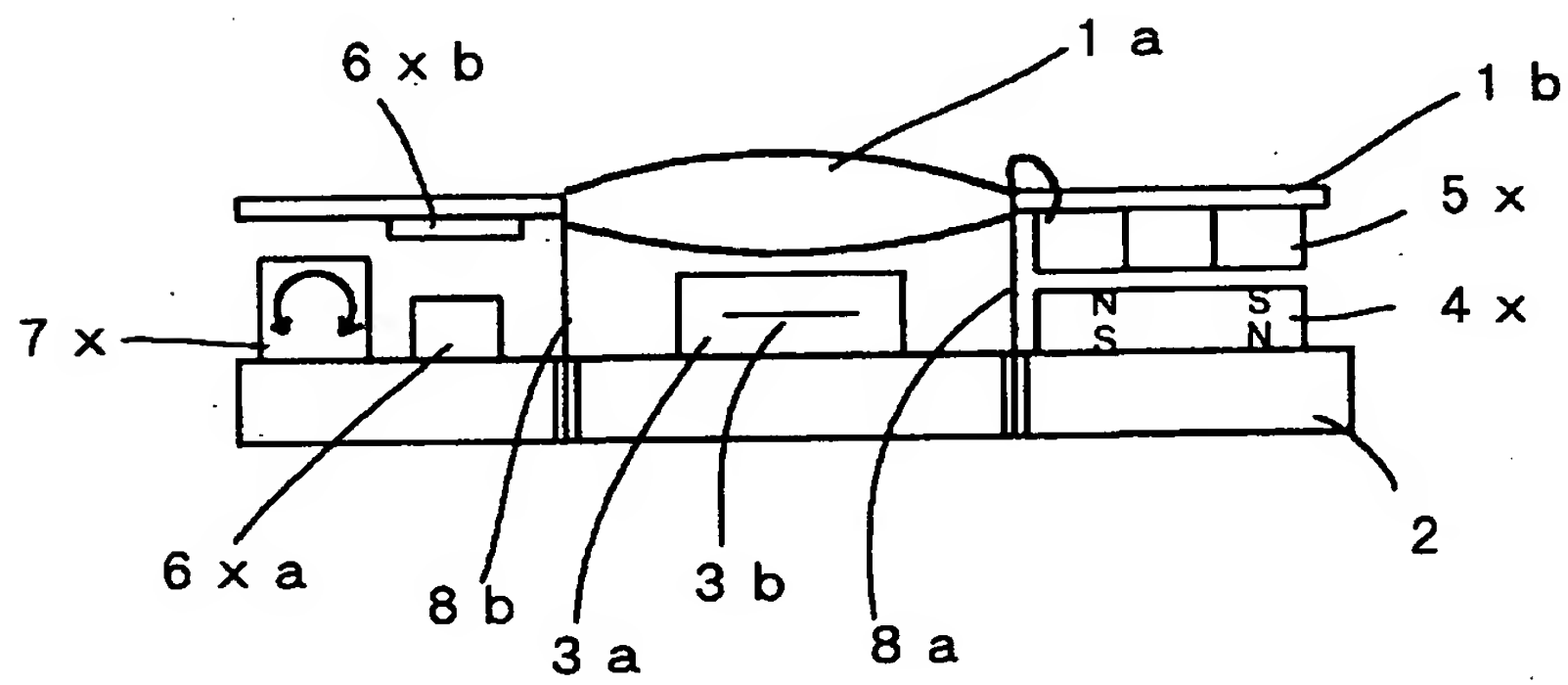
【図 2】



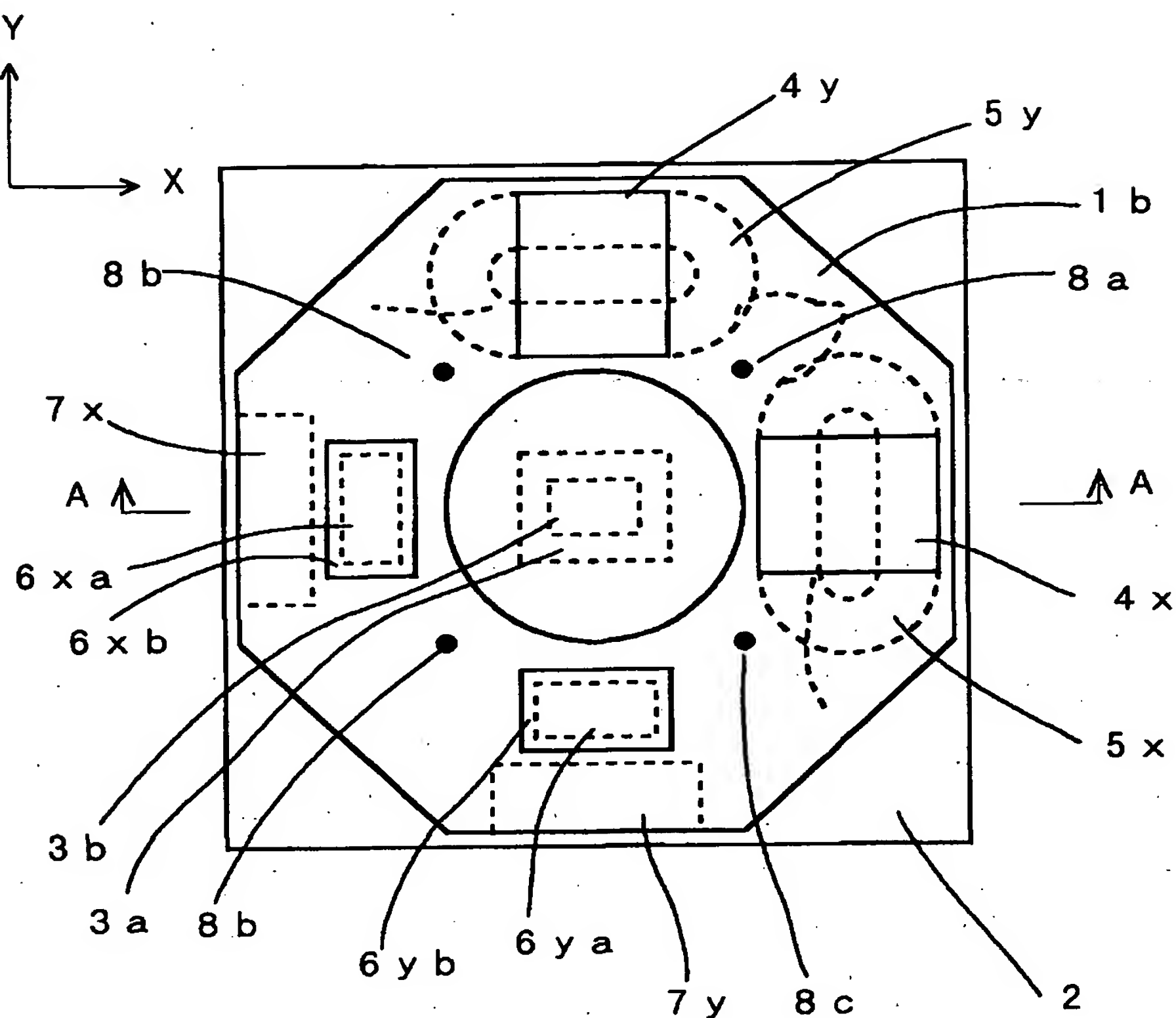
【図3】



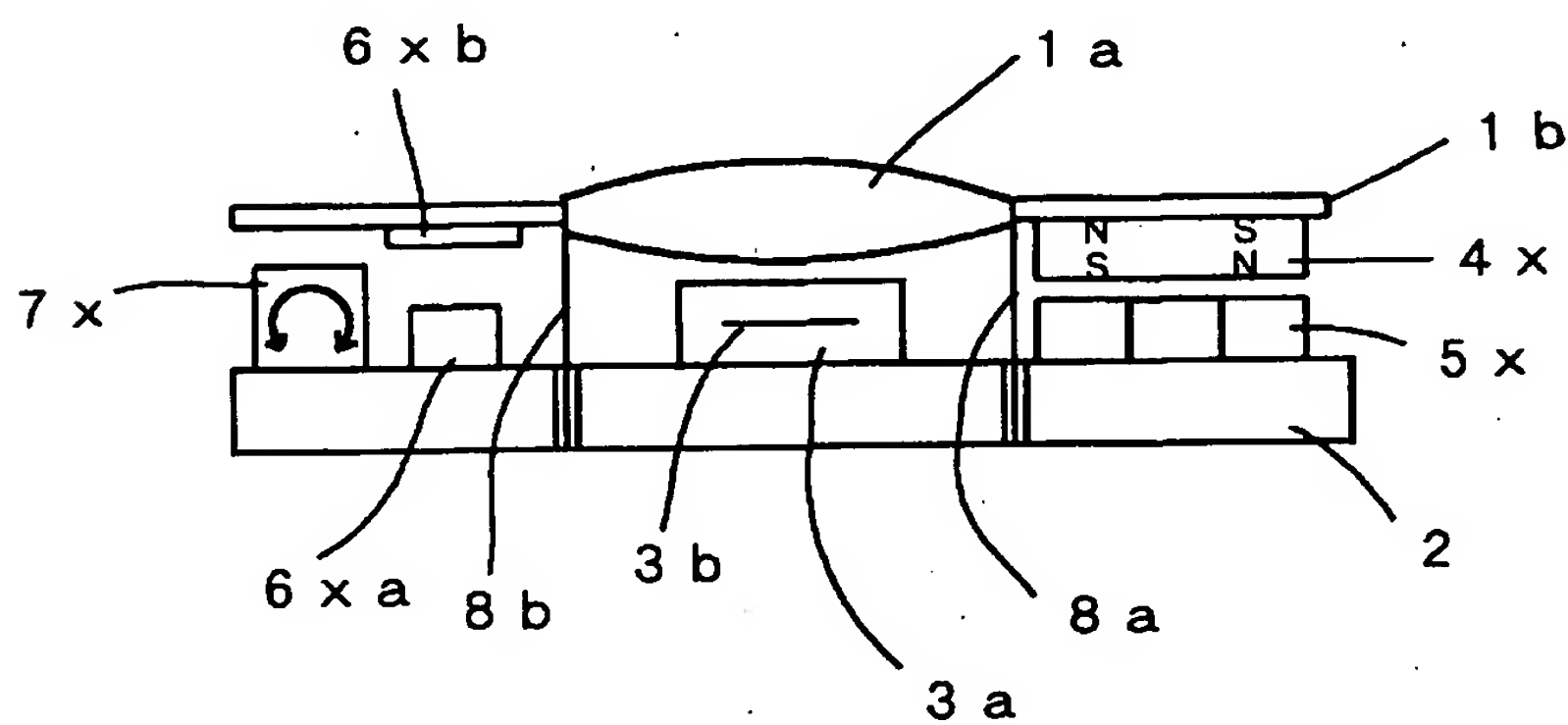
【図4】



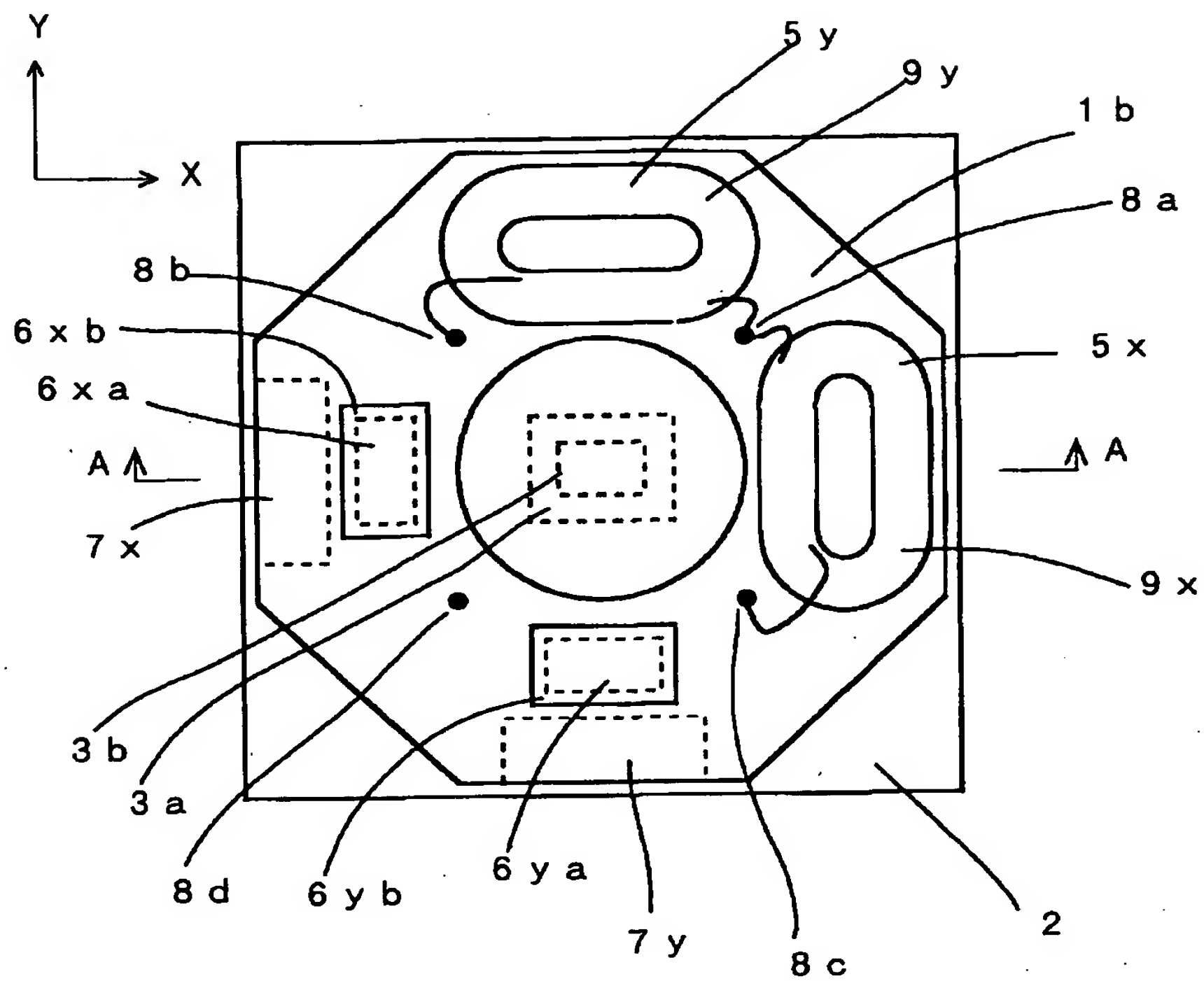
【図5】



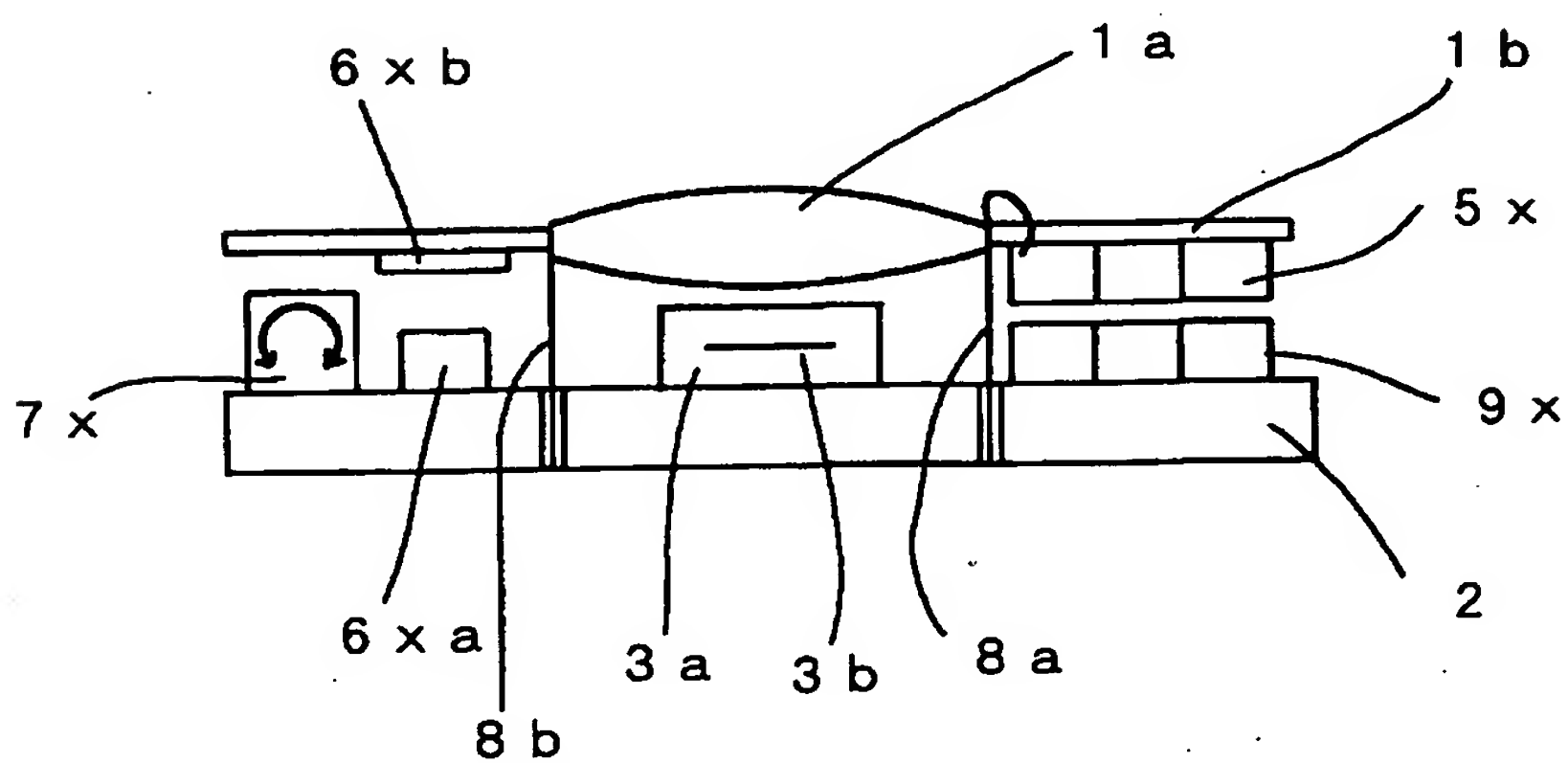
【図6】



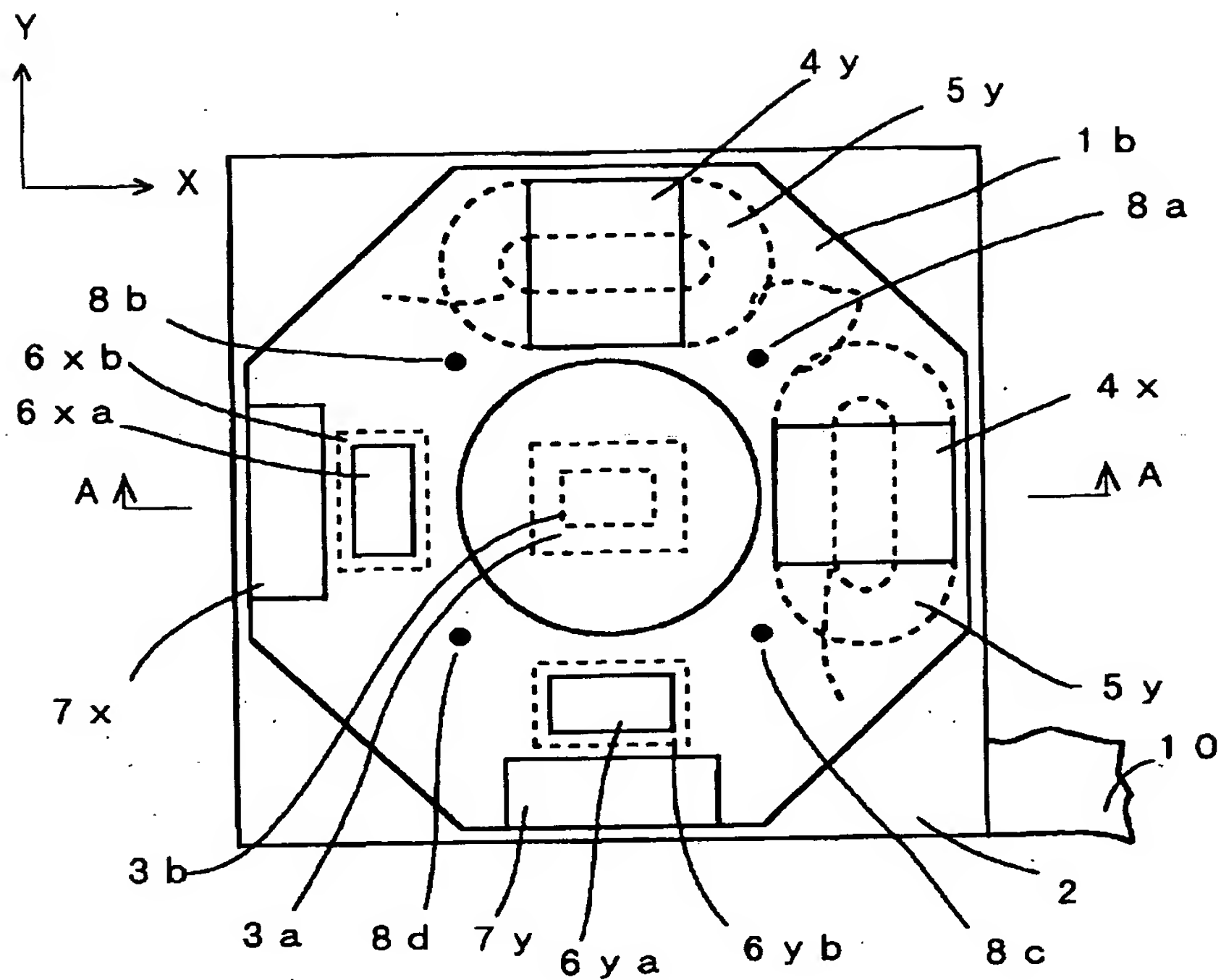
【図7】



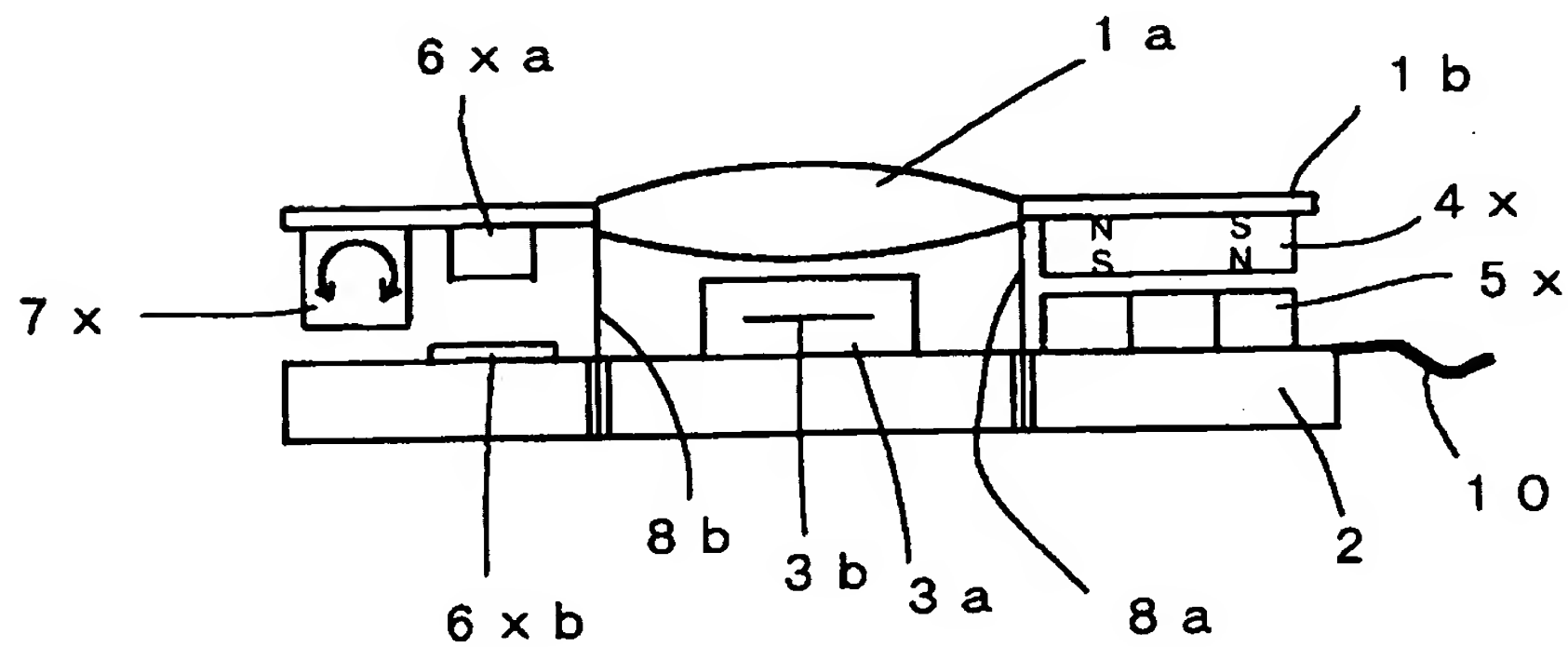
【図8】



【図9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 撮影レンズと撮像素子の光軸方向の位置精度が高くかつ小型軽量の防振機構を備える撮像装置を提供する。

【解決手段】 撮影レンズ（200）と保持部（202）からなる撮影レンズ部材（203）と、撮像素子（300）を搭載する基板（301）とを金属ワイヤ等により構成される可撓部材（400、401、402、403）を介して直接結合することにより、光軸方向の位置精度を維持したまま、撮影レンズ（200）と撮像素子（300）とをブレ補正のために光軸と垂直方向に相対的に変位させることができる。

【選択図】 図2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004112]

1. 変更年月日 1990年 8月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目2番3号

氏 名 株式会社ニコン